



JPI催しのご案内

2013
8

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 平成25年8月29日(木) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1部会、税込)

第1部 第199回生活者包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】最新のグラビア製版技術とドットコードの展開

経済情勢の変化が加速する中で、軟包装パッケージのコスト上昇の転嫁先が無い状況が続いている。これに対し当社は、インキ削減、省電力、省スペースを掲げた最新鋭のレーザーグラビア製版システム「New FX」を開発し、既に国内外で12セットが稼働中。これまであまり重視されなかったインキや電力、消耗品などのコストにまで注目し、メリットを引き出すことに成功している。

更に新型の付加価値として注目されているのが、更なる高画質化、グラデーション特性の改善に寄与する「ダブルトーン」技

術と、見えないコードを隠蔽して印刷物に付加価値を与える「ドットコード」技術である。どちらも、6400dpiの高画質レーザー製版の特性を活かした技術で、これからの軟包装パッケージにおいて新たな差別化の要素として期待されている。「ドットコード」においては、限られたパッケージの印刷領域を奪うこと無く、情報を埋め込むことができることが特長で、セキュリティ用途をはじめ、スマートフォンとの連動など様々な用途展開を模索している。

【講師】株式会社 シンク・ラボラトリー 代表取締役
【コーディネーター】ライオン(株) 包装技術研究所 包装管理士
株式会社旭紙工 業務部 マネージャー 包装専士

重田 龍男氏
西野 将嗣氏
浦川 英三氏

第2部 第197回包装ラインシステム化研究会

15:15~17:00

【テーマ】医薬品包装における最新動向

国内の医薬品業界は、海外巨大企業との競争から大手は開発型企業へ、また、その方策として生産の委受託規制の緩和により、中小は受託企業へ転換が図られてきた。また、各社主力商品の特許切れから開発のスピードアップが求められ、また、医療費抑制政策として薬価改定やジェネリック医薬品の奨励・拡大などもあり、企業間競争はますます激しくなっている。これらの

事象は、医薬品の包装とも無縁ではなく、様々なニーズがあるし、他にも、医療過誤を端に投薬ミスを防止するコード表示の義務付けや、医薬品の国際的流通から様々な高機能フィルムによる包装も必要となってきた。これらの動向と、CKDが取り組んでいる最新技術を紹介する。

【講師】CKD株式会社 自動機械事業本部 技師長
【コーディネーター】大日本印刷(株) 包装事業部 開発本部 開発第2部

水野 博文氏
菰田 誠一郎氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

8月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

8 月度の見学会はございません。

第51回全日本包装技術研究大会【仙台大会】

～発表者募集のご案内～

(公社)日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研鑽と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。本大会は本年で51回目を迎え、会場を仙台サンプラザに移し、盛大に開催する予定です。貴社におかれましてもこの機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

☆☆☆☆☆ 発表者募集要領 ☆☆☆☆☆

[発表内容] 1件あたり25分間(20分発表、5分質疑)
[募集件数] 54件 *定員になり次第締め切ります
[申込期間] 平成25年8月30日(金)まで
[発表料金] 無料 *記念品を贈呈します
[優秀選定] 発表者の中から、特に充実した発表をされた方を対象に優秀発表者を選定します

☆☆☆☆☆ 発表内容 ☆☆☆☆☆

包装又は包装資材に関する研究/新技術・新システム・新素材の紹介/廃棄・リサイクルの容易性/包装の現場における改善・合理化の事例/省力・省資源・コスト低減の事例など

☆☆☆☆☆ 発表部会 ☆☆☆☆☆

①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会
⑤医薬品包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会
⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会係 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

「包装白書2013」 発刊

日本包装技術協会設立50周年を記念して、この度包装白書2013を発刊致しました。本書は、「国内包装」における包装技術の変遷及び現状紹介を中心に、国内包装動向やトレンドに至るまで、包装の全貌が一望できるよう編纂されています。包装概論の参考書として、また社内教育の一環としてご活用ください。

《主な内容》

第1部 包装の変遷(4章) 第2部 包装関連業界の現状(3章) 第3部 包装の役割と新技術(3章)
第4部 包装と環境との調和(7章) 第5部 包装産業の更なる発展に向けて(3章)

体裁：A4判 195頁 定価：3,000円(消費税込み 送料別途500円)

購入お申込み方法：当会ホームページ (<http://www.jpi.or.jp>) トップページ包装白書2013からご注文下さい。

TOKYO PACK 2014

出展受付：本年9月より開始

併設

2014日本パッケージングコンテスト
入賞作品一般公開展
2014年10月7日(火)～10日(金)
東京ビッグサイト東ホール全館(全6ホール)

1966年より隔年で開催されている東京国際包装展は、今日では「TOKYO PACK」の名称で全世界に知れ渡っています。毎回様々な企画を盛り込み、出展者の皆様と来場者の皆様との幾重もの出会いの場を創出する本展は「TOKYO PACK 2014」としていよいよ本年9月から出展受付を開始致します。関係皆様のご出展を心よりお待ちしております。

前回実績：開催規模600社 2,270小間
来場者：来場者登録者数65,311名入場者175,870名

第16回化粧品包装セミナー

メイドインジャパンによる日本再生

日 程：平成25年8月30日(金) 13:00～16:50
会 場：スペースFS汐留
参加費：会員13,650円(消費税・テキスト代含む)
一般18,900円(消費税・テキスト代含む)
定 員：120名

◆プログラム◆

13:00～14:10

「メーキャップ化粧品容器の注意点
(容器と中味のマッチング含む)」

(株)トキワ 井上 隆 氏

14:20～15:30

「化粧品容器の加飾技術について」

日本写真印刷(株) 藤井 憲太郎 氏

日本写真印刷(株) 吉川 久美子 氏

15:40～16:50

「化粧品パッケージの消費者効果～これからの時代に問われるパッケージのコミュニケーション力～」

(株)資生堂 宮本 文幸 氏

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。

2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合せ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>